

令和6年度指定管理業務に関する事業報告書（デイ）

施設名 京都市勤修老人デイサービスセンター

1 施設の管理運営

<貸館業務>
・施設の維持管理等（清掃、施設、防火点検、設備備品管理、車両管理、植え込み及び外回りの整備）
<サービス向上の主な取組>
・法人ホームページの整備
・案内掲示板の有効活用
・適切な人材配備、研修等による利用者へのサービス向上
・1階空き地及び、2階バルコニーでの菜園の有効活用
・地域密着への積極的取組（小学校行事参加、学区社協行事への協力、各種ボランティア団体との交流）
・年2回の防火自主避難訓練の実施

2 事業実施内容

(1) 指定管理業務（老人デイサービスセンター）
・事業実施期間：令和6年4月1日～令和7年3月31日
・開所日：月～土曜日（但し、日曜日及び12月31日～1月3日を除く）
・開所時間：8時40分～17時40分
・利用定員：35名（通所介護事業、介護予防型通所介護事業）
・事業実施地域：通常の実施地域は山科区内
・年に数回イベント食（握りずし・面前料理等）
・選択レクリエーション（身体レク、趣味的レク、個別レク、足湯）の実施
・口腔ケアへの取り組み（口腔体操や歯磨きの支援など）…加算なし
・機能訓練・リハビリへの取り組み（個別機能訓練加算の実施、リハビリ体操など）
・介護予防型通所介護の実施
・映像プログラム（回想法・体操・脳トレ）を毎日実施

(2) 指定管理業務（企画提案業務：指定管理者が提案し、施設内で実施している業務。例：配食サービス）

自主事業の実施状況は、以下の通り。
・なし

3 サービス提供状況

・課長管理者：1名
・相談員専任：1名（兼務1名）
・看護職員：2名
・機能訓練指導員：1名
・介護職員：8名
・事務員：1名
・運転手：0名
・厨房職員：3名
合計17名（兼務職員を除く）

再委託の実施状況（協定書に明記のない再委託業務）は、以下の通り。（例：給食調理業務）

4 市内中小企業への発注に対する考え方

なるべく市内の中小企業に車の修理依頼等をお願いしており、合い見積もりも取りやすく、購入なども出来る様に発注を行う。

5 施設の利用状況（本来業務に係る施設の稼働率、利用者数、事業参加者数など）

(1)延べ利用者数

①令和6年度実績値 人

②令和7年度目標値 人

(2)実利用者数

①令和6年度実績値 件

②令和7年度目標値 件

(3) 収支実績

ア 本来業務（老人デイサービスセンター）

介護保険収入	48,614,217
利用料収入	10,380,674
委託料収入	0
補助金収入	470,537
寄付金収入	0
雑収入	0
その他	389,761
収入計	59,855,189

令和6年度収入状況及び支出の状況（単位：円）

人件費	45,000,094
事業費	19,044,586
委託費	0
小額修繕費	135,300
その他	0
支出計	64,179,980

6 施設の利用者満足度の把握

(1) 利用者満足度の把握状況

・事業所内4箇所に御意見箱（無記名）を設置し、通年自由記述形式で利用者の要望・希望の把握を行った。
・障害等により、自ら御意見箱を活用できない利用者や、その他の利用者から1年を通じ日々の業務において直接職員が聞き取ったニーズやご意見等の把握も行った。

(2) 利用者満足度把握の結果

・日々の終礼や会議を通して利用者の要望を共有し、以前より講評だった行事（季節の湯・敬老・クリスマス等）を実施し、評価も良好であった。昼食のメニューについては不人気なものは外してもらえる様痛く給食会社と協議し対応している。レクリエーションについても内容が偏らない様、上半身の運動、下半身の運動を交互に出来る様実施し、多数の参加を得られた。

(3) 意見等への主な対応状況

御意見箱や利用者の要望記録は、日頃から積極的に職員から声掛けを行うなどし、ニーズの把握に努め、また毎月スタッフ会議等で、要望の実現や苦情の解決に向けての討議を行い、サービスの向上に努めている。

7 その他特記事項

(1)

レジオネラ症発生予防対策とし、業者委託により年2回の浴槽湯水の水質検査（京都府条例施行規則に定める水質基準に適合）及び、年1回の浴槽湯水循環配管洗浄消毒を実施。

(2)

8 評価（指定管理者自己評価）

利用者本位、その人らしさを重視した自己選択・自己決定が出来るだけ可能な様々なサービス提供が出来、加算に関わらず口腔ケア（口腔体操、唾液腺マッサージ）や転倒防止の運動機器リハビリや、リハビリ体操も日常的に実施。
また、選択レクリエーションの一環である園芸、工作活動、個別的なレクリエーションも多く取り入れる事が出来て、自立支援に繋げることもなった。しかし、デイサービスの激戦区である山科において他の事業所との差別化が必要で、選ばれるデイサービスになる為の努力が求められる。その取り組みとして勤修デイとしての特色を強く出すことが必要である。その為に、映像プログラムによる脳トレや体操、カラオケリハビリの充実、年間計画や通所介護計画に基づいた選択レクリエーションや個別的なレクリエーションや足湯、2階バルコニーを使用した園芸活動や外気浴等で充実を図った。また機能訓練指導員による筋力トレーニングマシン等を使用しての機能訓練の取り組みを継続し、訓練内容の充実を図り、新規利用者の確保に取り組んだ結果、月平均1名以上の新規の利用者を呼び込むことに成功したが、長期入院・施設入所等の廃止者の増加の影響により、収支の改善には至らず厳しい状況となった。
障害を理由とする差別の解消に向けリーフレットの活用は継続し、各職員で理解を深めるよう努めた。コロナウイルス等感染症予防の取り組みを継続し、3密回避・マスク・手洗い・消毒の徹底に努めた。